



## インターナショナルオフィス長退任のご挨拶

退職にあたって

インターナショナルオフィス長 副学長(国際戦略担当) 板野俊文

平成23年10月にインターナショナルオフィス長に就任し、3年半が過ぎた。本年3月31日で私は定年退職する。「光陰矢の如し」というが、過ぎれば早く、あっという間であった。

しかし、この間大学を取り巻く環境は大きく変動した。たったの3年半とはいえないほどである。当初は、日本人学生の内向きといわれ、グローバル人材育成ということが、いわれ始めていた。それからしばらくして、地域に貢献する人材育成も必要だといわれた。そして、現在ではグローバル人材育成と声高に言われる。この「グローバル」なる単語は造語であるが当初は奇妙な単語であると思っていたが、使っているうちにだんだん普通になり、今

では違和感がなくなった。それだけ毎日使っているということである。また官民共同の「トビタテ！留学JAPAN」プログラムも始まり、現在、第3期の学生の募集が始まっている。一方で本年1月にいわゆる「イスラム国」の問題が起き、世界の状況が大きく変化してしまった。これからのしばらくは「イスラム国」の問題は続くであろう。宗教の問題だけでも難しいのに、貧富の差がこの問題の根底にあり、文化の問題もあるので、続かざるを得ないのである。

一方で、インターナショナルオフィスでは、いかに香川大学を国際化するかという問題があった。構成員全員がこの問題に真摯に取り組み、4&1プランを作成した。10年かけて留学生を倍の400人に、日本人学生の派遣を100人にするというものである。この数字の初めをとって4&1とした。これを実行していくために4&1プロジェクトチームを立上げ、様々な問題を取り上げ、方策を策定し、実行してきた。例えば「さめきプログラム」である。これは留学生が日本の生活に慣れるまでの期間をインターナショナルオフィスで受け入れ、専門に進学する助けとする。現在、ブルネイ・ダルサラーム大学から受け入れている。またブルネイ・ダルサラーム大学のディスカバリープログラムに対応した受け入れのプログラムを作成した。またJICA(国際協力機構)より客員教授を迎え、海外ボランティア活動のプログラムを作っている。これによって、3か月以上の派遣日本人留学生は40名以上となり、100名に届くのはそう遠い将来ではないと思われる。一方、外国人留学生の方の伸びは鈍く、各年10名から20名前後の増にとどまっている。この問題をこれからどのように解決していくかが問われている。

インターナショナルオフィス、国際グループ、各部署の国際交流室の皆様のおかげで、任期を無事終了することができ、深く感謝している。私は医学系の教育・研究に従事してきたので、いわば素人であり、組織のマネジメントなど知らなかったが、徐々に勉強して、それなりの成果を上げることができたのは皆様方の温かい支援の賜物と考えている。これからも「学生中心の大学を」めざして、香川大学の国際化に邁進していただきたい。諸兄弟の活躍を祈るや切なるものがある。



## <国際交流活性化の推進>

### 学術交流協定締結調印

- 2014年 4月26日 本学経済学部とチェンマイ大学経済学部との学術交流協定に関する覚書  
2014年 7月28日 本学工学部及び大学院工学研究科とラップランド応用科学大学との学術交流協定、学生交流プログラムに関する実施細則及びインターンシッププログラムに関する協定(※)  
2014年 9月 2日 本学教育学部及び大学院教育学研究科と江西師範大学国際教育学院との学術交流協定書、学術交流協定書に基づく学生の交流に関する実施細則及び学術交流協定に関する実施細則(再締結)  
2014年 9月14日 SUIJIジョイントディグリー・ドクター・プログラム(SUIJI-JDP-Dc)覚書  
2014年 9月16日 本学工学部及び大学院工学研究科とポリテク・アヌシー・シャンベリーとの学術交流の実施細則及び国際インターンシッププログラムに関する協定(※)  
2014年 9月30日 本学農学部及び大学院農学研究科とガジャマダ大学農工学部及び大学院研究科との学術交流協定書に基づく学生の交流に関する実施計画書

(※)協定校側の組織再編による再締結

### ハンバット大学の表敬訪問

平成27年1月29日(木)に韓国のハンバット大学から教員1名と事務職員9名が来学しました。ハンバット大学と本学は、平成20年11月に学術交流協定を締結し、主管学部である工学部を中心に研究・学生交流を毎年盛んに行っています。当日は、派遣団を代表してハンバット大学工学部のMin Byung Chan教授が国際オフィスを表敬訪問し、学生及び研究交流のほか、事務職員の交流の推進についても話し合いが行われました。今後の両大学のさらなる発展が期待されます。

(国際グループ 八木綾衣子)



Min Byung Chan教授(右)とオフィス長(左)

### チェンマイ大学学生による表敬訪問

平成26年12月22日(月)にタイのチェンマイ大学から「アジア・アフリカ異文化交流短期受入プログラム2014」で来日した学生7名がオフィス長を表敬しました。クリスマス、年末年始を日本で過ごし、日本文化を体験するプログラムで有意義な5週間を過ごしました。(国際グループ 浅野文恵)



チェンマイ大学の学生がオフィス長を表敬訪問

## <学生対象行事>

### 平成26年度10月期新入外国人留学生ガイダンス

平成26年10月4日(土)、インターナショナルオフィス主催「平成26年度10月期新入外国人留学生ガイダンス」を開催しました。

この秋、香川大学へ入学してきた外国人留学生に対して、住所届や銀行口座開設の他、自転車事故や就労(アルバイト)等に関する法令、防犯対策等、日本で生活する上での注意事項や様々な手続等に関する高松北警察署による法令遵守ガイダンスとインターナショナルオフィス教員による生活ガイダンスを実施しました。特に、外国人留学生に多い自転車事故を防止するため、実際の自転車を使っのシミュレーションを行いました。

事故やその他のトラブルを防いで、外国人留学生本人が気持ちよく香川での留学生活を送ることはもちろんですが、日本の法令等をしっかり守って、地域の方々とも円滑なコミュニケーションを図ってほしいと思います。

ガイダンス終了後は、新入留学生を囲んでの情報交換会を開催し、留学生同士や日本人学生、地域の方々との交流を深めました。

(インターナショナルオフィス 正楽 藍)



ガイダンスの様子



高松北警察署による指導

### 内閣府主催「平成26年度グローバルユースリーダー育成事業」

平成27年1月23日(金)に、ニュージーランドとオマーン王国から各10名の青年が来校しました。本事業は、香川県青年国際交流機構からの協力依頼により実施されました。会場はオーリーブスクエアの多目的ホールでした。本学側からの参加者はおよそ20名でした。わずか2時間の短い交流時間でしたが、本学の学生たちと有意義な交流ができたと思います。

参加者は四つのチームに分かれて、最初、お互いに自己紹介をして、与えられたディスカッションテーマについて、コーヒーを飲んだり軽食を食べたりしながら、話し合いや議論をしました。その四つのテーマは、Comparison of education systems: issues and lessons to be learned, Popular careers among the youth in your country, University student life styles in your country, Introducing the traditions and culture from your countryでした。後半、各チームごとに、プレゼンテーションをしました。

(インターナショナルオフィス ロン・リム)



集合写真



ディスカッションの様子



## 平成26年度香川大学インターナショナルウィーク

平成26年10月27日(月)～30日(金)と12月1日(月)～5日(金)、日本人学生の海外留学を促進することをはじめ、本学の国際交流活動を盛り上げるため、インターナショナルウィークを実施しました。

27日(月)は、Campus Franceによる「フランス留学 日本縦断プロモーションツアー 2014」を開催し、フランス留学を考えている本学学生向けの留学説明会を行いました。10月30日(木)は、第4回日仏自治体交流会議の一環で、来日したフランス自治体首長と本学学生との交流会を開催しました。

本ウィーク後半の12月の週は、12月3日(水)、毎年度開催しているインターナショナルオフィス主催「海外留学フェア」を行いました。今回は海外留学の就職への活かし方をテーマとし、株式会社グロップの人材開発部部长・礒野隆二氏を講師としてお招きしました。

さらに、10月から12月の開催期間中、キャンパス内数力所において、学术交流協定校や本学学生の海外留学の様子を紹介するパネル展示を行いました。(インターナショナルオフィス 正楽 藍)



フランス自治体首長との交流の様子



礒野氏による講演

## 平成26年度学長主催外国人留学生交歓会を開催

外国人留学生、教職員及びチューター等日本人学生や、地域や国際交流団体の方々との親睦を深めるため、学長主催による外国人留学生交歓会を平成26年12月5日(金)にホテルパールガーデンにおいて開催し、約220名が参加しました。

交歓会は、教育学研究科で研鑽中のIvy Santiago Liwa (フィリピン)さん、経済学研究科の劉文奇(中国)さんの司会進行のもと、長尾学長の挨拶に続き、留学生代表の工学研究科博士前期2年Patchara Yongdimitrapap (タイ)



学長と学生の懇談の様子



インドネシア学生による歌とダンス

さんの挨拶、板野副学長(国際戦略・地域連携担当)による乾杯の音頭で開始されました。また、タイ、インドネシア、ベトナムからの留学生による歌とダンスが披露され、大いに盛り上がりました。

最後にロン留学生センター長による挨拶で交歓会を締めくくりました。これを機に本学の留学生達が、さらなる交流の輪を広げ、日本での留学生生活を充実したものにしてくれることを願います。

(国際グループ 浅野文恵)

## 平成26年度(春季)国際ナショナルオフィスFD・SDワークショップ 「海外渡航者・教職員向け 危機管理セミナー」

平成27年2月17日(火)、国際ナショナルオフィス主催FD・SDワークショップ「海外渡航者・教職員向け 危機管理セミナー」を開催しました。ジェイアイ傷害火災保険株式会社リスクソリューション担当部長・城戸克斉氏と同社中国四国支店の長沼康行氏を講師としてお招きしました。

城戸様には、「留学生のための海外リスクマネジメント」として、出国から帰国までに起こり得るさまざまなリスクと事故、どのようにしてリスクを軽減したり事故を避けたりすることができるのか、感染症等を避けるために気をつけるべきこと等についてお話しいただきました。長沼様には、本学日本人留学生の多くが加入するジェイアイ傷害火災の窓口対応についてご説明いただきました。

危機に備えた海外旅行保険などへ加入することはもちろんですが、どのような場面でのような危機に遭遇する可能性があるのかを理解しておくことは、海外での自分の身を守るためには大変重要です。

(国際ナショナルオフィス 正楽 藍)



セミナーの様子

## 平成26年度秋期日本語研修コース及びさめきプログラム修了式

平成26年10月、留学生センター留学生として、文科省国費留学生4名(教員研修生2名、日本語・日本文化研修生2名)、海外協定校からの特別聴講学生1名の計5名が入学しました。うち、半年間日本語・日本事情を集中的に学んだ教員研修留学生2名(インドネシア、コスタリカ)とさめきプログラム1期生1名(ブルネイ)の計3名が、このほど所定の学修を終え、2015年2月20日(金)に合同で修了式を行いました。

「さめきプログラム」とは、今年度後期より新たに始めた交換留学生受け入れプログラムで、日本語



修了式

初心者を対象に、初級日本語および英語による日本事情の授業を中心として実施されます。記念すべき1期生は、海外教育研究交流拠点の1つであるブルネイ・ダルサラーム大学からの学生でした。

式では、10月に「あいうえお」から始めた3名それぞれが、日本語で立派に修了スピーチを行いました。3名とも4月以降も、学習の場は変わるものの本学で留学生生活を続けます。この半年で身につけた日本語の知識や運用能力が活かされ、さらに磨きがかかることを期待しています。

(国際ナショナルオフィス 塩井実香)



## 平成26年度帰国予定の外国人留学生及びチューター等意見交換・反省会

平成27年2月20日(金)、前項の修了式に引き続き、今春本学を卒業・修了し帰国したり新たな道に進んだりする留学生及びチューター学生への歓送と激励の意味を込めて、意見交換・反省会を行いました。留学生・日本人学生・インターナショナルオフィス教職員のほか、日頃から留学生支援にご協力く



オフィス長による開会挨拶

ださっている地域ボランティアの方々の多数の参加も得て、板野インターナショナルオフィス長による挨拶の後、ロン留学生センター長の音頭による乾杯でにぎやかに開会しました。参加者同士、思い思いに香川での学生生活を振り返り、築かれた絆を確かめ合ったり、思い出を語り合ったりし、閉会までの2時間があっという間に感じられる濃密なひとときとなりました。卒業・帰国等する学生たちには、本学在学中に得られた出会い、学び、経験、全てが今後の糧となることでしょう。(インターナショナルオフィス 塩井実香)



主役の留学生からの一言



参加者全員で記念撮影

## 外国人留学生への就職支援

今年度の就職支援は、主に「地域中小企業の海外人材確保・定着支援事業」の一環として実施されており、前号でお伝えした8月以降も様々な取り組みが実施されました。

平成26年10月31日(金)、留学生就職活動準備セミナーを実施しました。内定獲得済みの留学生、劉文奇さんからの就活体験談、教育学部加藤みゆき教授による日本文化基礎講座、マイナビの坂田隆氏による「日本における就職活動」について、の3部構成で、充実したセミナーになりました。

同11月21日(金)には、留学生採用支援セミナー&交流会を実施しました。講師として行政書士の山田總子氏をお招きし、企業が留学生を採用する際の具体的なお話をいただきました。その後高松大学の稲井富赴代氏および筆者より、香川県内の留学生と就職に関する状況を説明したのち、企業の採用担当者と留学生の交流会を実施しました。



レクザム住田副社長

同12月10日(水)の留学生生活用セミナー&交流会では、富士産業株式会社の中條有二氏をお招きし、本学留学生の採用事例をお話いただきました。その後、再び交流会を行いました。一連の交流会により、留学生がこの種の交流会でなすべきことに慣れてきた様子が見られました。

平成27年1月21日(水)には、株式会社レクザムにおいて企業見学会を実施しました。同社の広範かつ先進的な事業を自身の目で確かめることができる、またとない機会でした。

同1月24日(土)には、外国人社員研修を実施し、就職直後から今までに得た知見を確認しつつ、交流を深めました。同26日(月)には内定者研修を実施し、講師の宝山秀逸氏の体験を踏まえた多岐にわたる内容を学びました。

これらに加えて、1月から12月にわたりビジネスマナー講座も実施され、さらに近年関係を強めつつある、香川県中小企業家同友会の意見交換・交流会(1月実施)にも、多数の留学生が参加しました。この会合では、本学卒業生でもある李暁鑫氏がパネリストの1人を務めました。

(インターナショナルオフィス 高水 徹)



日本文化基礎講座実習中の学生たち

## 課外教育行事

今年度の課外教育行事は、県内の歴史・文化の学習に焦点を当てました。

平成26年9月26日(金)、第1回課外教育行事を実施しました。今回の見学場所は丸亀城と本島です。丸亀城では、留学生たちは「本丸」「二の丸」などの言葉や、天守内に展示されている歴史的展示物に興味を示していました。本島では、瀬戸内国際芸術祭の作品の1つである版築、笠島地区、映画「機関車先生」ロケ地などを訪れた他、本島小学校にてそれぞれが作成したクイズで交流しました。留学生のみならず小学生たちも非常によく準備してくれ、楽しい交流となりました。

同11月29日(土)、第2回課外教育行事を実施しました。見学先は善通寺、金毘羅宮、金丸座、満濃池、国立まんのう公園「まんのう公園ウィンターファンタジー」と盛りだくさんでした。この中で、善通寺と満濃池は、共に空海ゆかりの地であり、金毘羅宮や金丸座も含め、良い学習になったことと思います。

(インターナショナルオフィス 高水 徹)



金丸座にて



丸亀城天守にて



## 「国際協力に関する座談会」

平成27年2月4日(水)、インターナショナルオフィス主催で、国際NGOのオックスファム・ジャパン職員(鈴木洋一キャンペーンオフィサー)とのセミナーがオリブスクエア教員交流ラウンジにて開催されました。

国際協力に関心のある一般参加者及び学生20名ほど集い、世界の課題に取り組む私たちの行動に関し、様々な手法を活用して討論を実施しました。試験前にもかかわらず熱心な学生の参加により、あっという間に時間が過ぎましたが、通常の講義からは受けられない満足度満点の参加型セミナーでした。インターナショナルオフィスからは、細田・熊谷教員が討論に参加し、学生と国際協力について様々な意見交換が行われました。

(インターナショナルオフィス  
熊谷信広)



講師の鈴木氏



座談会の様子

## 平成27年度海外留学支援制度(協定派遣・協定受入)申請プログラム採択

独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)の平成27年度海外留学支援制度に8プログラム、2,495万円分の奨学金が採択されました。この奨学金は返還不要で、月額6～10万円が支給されます。

### ・採択プログラム(短期派遣)

地域貢献を担う人材育成を基盤に学校教育教員資質向上を目指したAAE異文化交流短期派遣プログラム(申請部局:教育学部)、複線型グローバル教育プログラム(申請部局:法経済学部)、医学・看護学における自己啓発的グローバルディスカバリープログラム(申請部局:医学部)、国際インターンシップを活用したグローバルエンジニア育成プログラム(派遣)(申請部局:工学部)、食品の安全・機能解析教育に関する東南アジア等の大学間体験学習型派遣プログラム(申請部局:農学部)、香川大学学生交流(短期派遣)プログラム(申請部局:インターナショナルオフィス)

### ・採択プログラム(短期受入れ)

香川県近郊をフィールドとした異文化理解教育支援短期受入れプログラム(申請部局:教育学部)、食品の安全・機能解析教育に関する東南アジア等の大学間体験学習型プログラム(申請部局:農学部)

(国際グループ 溝淵雅子)

## <外国人留学生リクルーティング活動>

前号でもお伝えしたとおり、今年度も、本学は留学生のリクルーティング活動および広報活動として、各種説明会に参加していますが、紙幅の都合上日本留学フェアについてご紹介いたします。

平成26年11月15日(土)および16日(日)、ベトナムにおける日本留学フェアに参加しました。日本学生支援機構が主催するフェアで、日本の大学等がブースを設けて実施する説明会です。今年度はインターナショナルオフィスより金および高水、ベトナムから本学に留学しているゲン・ティー ハーフンさんが参加しました。近年ベトナムから日本への留学生が特に増加していることもあり、今回も大盛況でした。



留学フェア 本学ブース

15日の会場はハノイで、総来場者数は1,396名、16日の会場はホーチミンで、来場者数は1,265名でした。本学ブースには、いずれの日も、50名程度の留学希望者等が訪れ、熱心に質問をしていました。

今回は、フェア終了後に、ドンズー日本語学校を訪問することができ、貴重な意見交換を行うこと



ができました。同校は本学を含め多数の日本への留学生を輩出しています。意見交換の中で、他大学におけるベトナム人留学生の様子や、同校の今後の方向性、日本の大学への要望等、かなり踏み込んだ内容が話し合われました。

さらに、17日(月)には、同校の留学生センターにて、本学について広報する機会を得ることができました。ここではゲンさんが大いに力を発揮してくれました。現在では、同校からの留学生は、同校を卒業後に一度日本の日本語学校でさらに研鑽した後、日本の大学等へ進学していますので、これらの活動の成果が出るのはしばらく先になりますが、今後もこのような活動の継続により、優秀な留学生が本学に目を向けてくれるよう、努めたいと思います。



ドンズー日本語学校にて

(インターナショナルオフィス 高水 徹)

## <地域との交流活動>

### 附属小学校における交流会

平成27年2月6日(金)、附属高松小学校にて初等教育研究発表会が実施され、本学の留学生が参加しました。英語によるコミュニケーションが主な内容で、5年生では、「発信しよう！日本の魅力」という学習を行い、小学生がいろいろな和楽器を留学生に紹介しました。子どもたちは、英語でどのように伝えたらよいかを試行錯誤しながら考え、ジェスチャーを交えながら伝えて、伝わった喜び、また留学生とより仲良くなれた実感を味わうことができたようです。

実施後の討議会では、留学生との出会いをよい契機にしながら、伝え合う中で失敗体験・成功体験をくり返していくことで、よりリアリティーのある英語を実感できるという点で、交流の意義を評価していただけたそうです。本学としても、今後ともさらなる連携を継続的に行っていきたいと考えております。

(インターナショナルオフィス 高水 徹)



和楽器



パネル

### 市民講演会の開催

平成27年2月11日(水)、「水危機克服へ讃岐からの国際協力」と題して市民講演会を開催し、外国からの参加者を含む市民約80名が参加しました。はじめに、NPO グラムバングラ議長 S.I. カーン博士、JICA 国際協力専門員松本重行氏による基調講演があり、続いて香川県農政水産部土地改良課中村康明課長補佐、香川大学工学部末永慶寛教授、オイスカ四国研修センター萬代保男所長による「さめき発」の実践報告のあと、参加者からは、(株)イナダ社長などによる活発なフリートークが展開されました。大学の知と地域の英知を繋ぐプラットフォームの構築に貢献しました。

(インターナショナルオフィス 熊谷信広)



JICA 松本重行国際協力専門員による  
アジアの水問題と日本の取組の説明

## インターナショナルオフィス非常勤教員のご紹介



Erik Davis

My name is Erik Davis and I am a recent graduate of Colorado State University in the United States. During my time at Colorado State University, I got the opportunity to study abroad in Nagasaki, Japan and learn many things about Japanese language, culture, history, and society. Since then, I have always wanted to return to Japan and spend some time working with Japanese students. I am excited to now be helping with the international relations and English study at Kagawa University, and I'm looking forward to my time in Takamatsu. I will be working in the Faculty of Education Office, so if you see me, please come say hello!

---



Seksiri Niwattisaiwong

My name is Seksiri Niwattisaiwong. I came here from Thailand as an exchanged staff member, but my permanent position is an economics lecturer at the Faculty of Economics, Chiang Mai University, Thailand.

I graduated from London School of Economics and Political Science (LSE), United Kingdom. Although my major was Macroeconomics Theory, I am also interested in teaching Statistics for Economists and Basic Econometrics. While in school, I used to suffer from these subjects, so I know what the most difficult parts are and truly understand my students.

I wish to contribute to Kagawa University not only by teaching economics in English, but also by sharing my experience, especially about what I gained from studying overseas, to encourage Japanese students to go to school abroad and realize how important English is. I am also more than willing to help with any other tasks.

---



Mostfa Ruby

Greeting from Ruby!

My name is Mostofa Ruby. I was born in Bangladesh and obtained my BA and MA at the University of Dhaka. In April 2000, I came to Kagawa with my husband. I had a dream of getting a higher education but I was not sure about this dream because my life in Japan was very hard. However in March 2013, I got my PhD from the faculty of medicine. During my long stay here I have gained many wonderful experiences as well as, more than I ever thought possible, many precious moments.

It was with great pleasure that I joined as an irregular teaching staff of the International Office of Kagawa University in December 2014. I am proud of all my students for they are very committed to learning English. I am also fortunate to have the opportunity to work in the faculty of medicine.





Jason Murrin

My name is Jason Murrin and I am from Canada. I grew up in a small town on the island of Newfoundland, better known to locals as “The Rock”. After finishing high school I moved to Halifax, Nova Scotia, where I attended Dalhousie University and studied Oceanography and Marine Sciences. Upon graduation I decided to travel and explore the world. I moved to Japan and discovered the love of teaching. Japan is a beautiful country filled with kind people, living history and amazing food. I enjoy sports and the outdoors and often spend time camping, hiking and fishing with my wife and 2 sons. I look forward to spending my life here in Japan and educating my students about English and Canadian culture.



William Seil

Hello! My name is William Seil and I am from the state of Idaho in the northwestern region of the United States. After receiving an MSc in Social Anthropology from the University of Edinburgh, I moved to South Korea (and later Japan) to begin my career as an English teacher. Now, nearly three years later, I find myself in the lovely city of Takamatsu working with the fine students and faculty of the International Office and the Department of Agriculture. As a visiting instructor here, I am committed to adding value to the university’s English program through course offerings, enrichment opportunities, and media development to help students achieve their goals of becoming proficient and confident English speakers. My personal interests include traveling, studying history and language, reading, and writing.

## 留学生の声

**Fermin Jimenez Jose Antonio** こんにちは！私はアントニオと申します。メキシコから参りました。メキシコで、化学工学を勉強しておりますが、今回香川大学で、国費留学生として、日本語と日本文化を学びに参りました。香川県は住みやすいところです。大きくないところなので、自転車でもどこでも行けるところで、気候も良くて、美味しいうどんを食べられるところです。香川大学にはたくさんの友だちがいます。みんな、先生でも学生でも、優しく、親切な人なんです。留学生している友達もたくさんいます。それで、毎日、香川に来てよかったと思います。それでは、よろしく申し上げます。

**Nurul Mawaddah** Hi, my name is Nurul Mawaddah. I am a teacher from Indonesia. In Indonesia, I teach vocational high school students. This is my first time coming to Japan. At first I worried about many things. I worried about the weather, the food, things I had to prepare, and many others. Luckily, the people here are very kind and helpful. Now I have no problem to worry about. Kagawa is a quiet and nice place to stay. The weather is nice, despite its strong wind. I can go to campus either by bicycle or train. Friends, university staffs and the teachers are always willing to help. And the most important I can find halal food. There is no reason I do not want to visit this place again one day in the future.

## Jorge Porras Alvarado

My name is Jorge Porras Alvarado, a teacher of Mathematics from Costa Rica. I am so thankful that now I am here in Kagawa University. And for this blessing, I have the government of Japan to thank for they have given me the chance to be in the teacher training program. And because of this I can experience the life of being a student again, studying in the classroom.

I have lived many great moments and little by little I discover more from this beautiful region of this wonderful country called Japan. I do not have any problems or difficulties; the support is found everywhere, from university staffs and also from friendly citizens on the streets who would always lend a hand.

This city is ideal if you want to have a quiet and peaceful life full of opportunities to enjoy delicious meals, beautiful places and good friends.

On my return to Costa Rica I will always remember this beautiful place, everything I have been through, and all people I have met here.

## Muhammad Adnin

In Kagawa prefecture specifically in Takamatsu City, everyday life is very simple, you have classes and by choice you can join a club or circle. The atmosphere at International House and University is very welcoming which makes one feel at ease. Despite the daily cycling trip back and forth to University, it is somewhat an enjoyable experience at which one can quickly get used to.

香川県、特に高松市は、住みやすい所です。大学の生活も簡単に慣れます。そして、もし興味があったら、部活に入れます。留学生会館と大学の雰囲気はとても安心ですから問題がありません。普通に自転車で大学に通っています、時間がかかりますが、いい経験になります。

**Slugocka Paulina** はじめまして、パウリナと申します。ポーランドから来て、今、香川大学で留学しています。ポーランドでは、専門が日本語と日本文化なので、日本で住むことはとても勉強になって、楽しんでいます。将来、通訳者や翻訳者になりたいと思って、ポーランドと日本の架け橋となれたらいいと思います。高松市に住んでいるのは、もう、5ヶ月目になって、とても面白いと思います。海も近くて、綺麗な場所だと思います。偶然ここにきましたが、そんな運命があってよかったと心から思っています。



左から Muhammad Adnin, Nurul, Jorge, Antonio, Paulina

## インターナショナルオフィスからのお知らせ

平成27年度EXPLORE交換留学生を募集しています。香川大学への学術交流協定校であるブルネイ・ダルサラーム大学およびチェンマイ大学への、1セメスター（平成27年8月～12月）または2セメスター（平成27年8月～平成28年5月）の海外留学です。平成27年度EXPLORE交換留学生には、奨学金が支給されます（ただし、学業成績や家計基準等の資格要件有）。

詳しくは、インターナショナルオフィスのウェブページ([http://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/isc/study\\_abroad/](http://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/isc/study_abroad/))から、募集要項をダウンロードしてください。ウェブページへは、「香川大学(トップページ)→国際交流→留学案内→海外留学」からでも入れます。

インターナショナルオフィス発行の『香川大学生のための海外留学・研修ハンドブック2015-2016』ができました。上記と同じURLからダウンロードしてください。インターナショナルオフィスや各学部学務係でも配布しています。

海外渡航する本学学生には全員、「海外渡航届」の提出が義務付けられています。また、平成26年4月からは、本学の制度を通して3ヶ月以上の海外渡航をする学生には、誓約書の提出も義務付けられます。両様式は各学部学務係で入手してください。

香川大学  
インターナショナルオフィスニュース  
第12号 2015年(平成27年).3.31

香川大学インターナショナルオフィス  
〒760-8521 高松市幸町1-1  
Tel : 087-832-1194 Fax : 087-832-1192  
E-mail : soryugase@jim.ao.kagawa-u.ac.jp  
URL : <http://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/>  
留学生センターfacebook  
URL : <http://www.facebook.com/KUISC>